



### ユネスコサロン

とき／6月28日(土) 午後1時30分～2時45分  
 ところ／広島市中央公民館  
 (中区西白島町24-36)  
 講師／前広島市立舟入高校校長  
 福原紘治郎さん  
 テーマ／「国際社会に生きる資質・能力の育  
 成をめざした学校経営」  
 参加料／無料

## '03年度総会を開催

### 30周年事業などを決定

広島ユネスコ協会は、'03年度総会を四月二十六日、広島市まちづくり市民交流プラザで開き、過去一年間のしめくくりを行い、結成三十年を迎える新年度の方針をはじめ一部専門部の改組、規約改正等を審議し、決定しました。また、一期二年の任期満了に伴う役員改選を行い、新体制が発足しました。

総会議事の要点は次のとおり。

広島ユネスコ協会は、'03年度総会を四月二十六日、広島市まちづくり市民交流プラザで開き、過去一年間のしめくくりを行い、結成三十年を迎える新年度の方針をはじめ一部専門部の改組、規約改正等を審議し、決定しました。また、一期二年の任期満了に伴う役員改選を行い、新体制が発足しました。

総会議事の要点は次のとおり。

### '03年度役員

一方、'03年度事業計画では、(1)結成三十周年事業推進、(2)青少年育成、(3)組織・財政、(4)事務所強化の重点方針が審議、承認されました。

その中身は、(1)三十周年事業は、記念講演会(講師/新藤兼人映画監督)と記念誌出版の二つの企画、(2)青少年育成は、被爆六十周年に開催予定の全国高校生広島大会へ向けてのとりくみ、(3)組織・財政では、従来の「国際平和部会」を改め「国際部会」「平和部会・世界遺産担当」とする専門部改組など。

また、規約改正では「個人会員会費年額四千円を改め五千元(青年は三千円)」と改定されました(維持会員一万円は従来どおり)。

なお、役員の任期は二期二年、本年度は改選の年にあたり、新役員(別掲記事参照。新任/事務局長・山本隆信、理事・綿井悠子、比治山女子中・高校教諭)が選出されました。

- △名誉会長／秋葉 忠利
- ▽名誉顧問／平岡 敬
- ▽顧問／永井滋郎、松原博臣
- 伊東亮三、深崎敏之
- ▽会長／北川建次
- ▽副会長／木村進匡
- △組織部会▽常任理事／○平岡豊恵、末重文男、◇松岡盛人。
- 理事／◇國田繁、山崎芳彦、◇清水昌法、◇梶井朝子
- △教育部会▽常任理事／○大和喜久男、太鼓矢晋、長迫凱朗、足立柳子。理事／崎岡光明、藤原隆範、林弘子、▼綿井悠子
- △文化部会▽常任理事／○井尾義信、新川貞之、山崎克洋、松原博子。理事／中道紘二、藤井孝行
- △国際部会▽常任理事／○藤井正一、中山修一、永田龍男、松尾昭彦。理事／中谷美保子、米山幸夫
- △平和部会・世界遺産担当▽常任理事／○亀井章、由田千鶴子。理事／佐々木肇、西村憲治
- △広報部会▽常任理事／○古田碩永、沖本博、岡平裕次
- △事務局▽事務局長／▼山本隆信、事務局次長／上橋穩詔、国田繁
- ▽兼任、常任理事／新畑志津夫、亀井章
- ▽兼任。理事／藤井孝行
- △監事／木原亮、奥中正之
- (○)部会長、▼新任、◇青年育成担当)

### 広島ユネスコ協会 結成30周年記念事業

前号で広島ユネスコ協会結成30周年記念事業案をご紹介いたしました。日時・内容を一部変更して次のように決定いたしました。

- 催し「講演と映画」  
 日時 9月27日(土) 14時～17時  
 会場 広島県民文化センターホール  
 内容 <講演>「生きる 創る 老いる」  
 講師 映画監督・新藤兼人さん(広島市名誉市民)  
 <映画>「午後の遺言状」(予定)
- 記念誌「広島ユネスコ協会30年」  
 内容 30年の歩み(年表) 機関紙「ヒロシマユネスコ」全号復刻 会員名簿外  
 体裁 B5判 250ページ  
 発行 300部 9月中旬発行
- 記念パーティ  
 日時 9月27日(土) 17時  
 会場 広島県民文化センター(鯉城会館)

# 新春フエスタ盛大に開催

## 奨励賞表彰と弦楽コンサート

国際平和文化都市広島市における国際理解・協力・交流の活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞（主催／広島ユネスコ協会、後援／広島市教育委員会）の表彰式と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フエスタ」は、その五回目を迎えて一月十八日、広島アンデルセンで開かれました。

第一部の第五回奨励賞表彰式では、まず、審査委員長の広島大学大学院国際協力科・中山修



（写真は奨励賞表彰式の模様）

一教授が受賞団体のそれぞれの活動評価をまじえながら講評され、次いで賞状とブロンズ杯が次の団体に贈られました。

学校部門は三校。広島市立安西小学校は重慶市樹人小との姉妹交流による文化交流・国際理解活動。同南観音小学校はタイバンコク市の小学校との授業・ホームステイ交流。同安佐中学校は生徒のボランティア活動・空缶回収でネパールの学校建設を支援。

社会部門は、ひろしま翼の会姉妹都市交流とその紹介活動に對して、広島国際文化芸術研究会は絵画をはじめ内外の芸術作品展示などによる芸術文化の国際交流に、また、ぎおん日本語教室（祇園公民館所属）は在日外国人の日本語学習支援に、ナマステINDIAはインド現地のNGO支援・平和交流に對して。

表彰式の最後に受賞各団体が活動内容を発表しました。第二部は弦楽四重奏の演奏。

チェロのソリストとして活躍する森純子さんと広島交響楽団所属の「弦」のメンバーによる弦楽四重奏。

ほぼ百席を埋めた聴衆が、モーツァルト曲「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」、ポロデン曲「弦楽四重奏曲第2番二長調より」、シューティンスキー曲「ウイーン我が夢の街」、レハール曲「メリー・ウイドーよりメドレー」を鑑賞し、新春の晴れやかなひとときを過ごしました。

表彰式、コンサートに続いて行われるパーティーは、これも恒例のプログラム。

多山報恩会の増井清理事長の乾杯の発声で始まった会は、途中で、受賞団体が入れ替わってのメンバー紹介も行われ、受賞者同士の交歓・交流の場となつて、終始和やかな雰囲気のうち閉会しました。

（常任理事・亀井 章）

### 「広島と韓国の絆を探る」講座開催

この講座は、二十四名の参加者を得て、去る二月二十二日（土）、二十三日（日）に広島留学生会館

で、昨年に続いて開催したものです。今回は、広島と韓国はどのように交流してきたかを「正」と「負」の両面から考察することにしました。

第一日目は、開講式で大邱広域市の地下鉄犠牲者に黙祷の後、北川建次会長から挨拶があり、大邱協会李洪植副会長に広島ユネスコ協会から地下鉄火災の見舞金を贈呈いたしました。

講座1「広島にある朝鮮の文化財」（講師／李恩和さん）では、広島市内不動産にある高麗時代の鐘の由来などについて報告されました。

講座2「広島と韓国（慶尚道）の地域経済と環境問題」（講師／李東碩さん）では、韓国内での大邱広域市の社会的・経済的位置と両市の経済的特徴について話があり、新しい姉妹都市交流として環境保護運動のNGO活動のネットワーク化を提案されました。

講座3「韓国人原爆慰霊碑と李鎭公」（講師／松永英美さん）では、原爆投下で被爆された朝鮮王朝の李鎭公殿下についての来日の経緯と心底から朝鮮の独立を願っていたことなどを報告されました。次いで韓国ユネスコ大邱協会副会長の李洪植さん（今回の講座のために招へい）

が「韓国人の氏名と日本人の名前」と題して講演され、韓国人にとって氏名は一生不変、韓国人の命といえる、朝鮮総督府による創氏改名は韓国人にとって考えられない屈辱と述べられました。

その後、パネルディスカッション「広島での日韓交流の昨日、今日、明日」を三人のパネラーが論じられました。

第二日目は講座5「韓国の食文化」（講座と実習、講師／裴学泰さん）では、キムチの歴史について意義を聞いた後、四種類の韓国料理を作つて、韓国焼酎で乾杯し、有意義な講座を終りました。

（常任理事・藤井正二）

### 大邱地下鉄火災に見舞金

当協会は、大邱地下鉄火災事故の犠牲者へのお見舞金を募集し、二月二十二日「広島と韓国の絆を探る」講座の冒頭、北川会長から金一封を李洪植大邱ユネスコ協会副会長に贈りました。同協会からの報告では、韓国の毎日新聞社を通じて曹海寧市長に贈呈され、厚情を心から感謝している、とのことでした。

# 第25回高校生をつどいを開催

## 活動の歴史

この活動は、広島ユネスコ協会設立五周年記念事業の一つとして、内海顧問の提案により、78年十一月十二日、広島平和記念館において、「世界の中の日本を考える」―高校生の国際理解を深めるために―という主題のもとに開かれた。参加者の実数は定かでないが、要項によれば国際理解に関心をもつ高校生（広島市および周辺の八高コ協会会員となっている。話し合いは協会青年部の司会により、五名の助言者（うち二名は現在も協会役員）がグループの指導に当たり、活発な意見が交換された」と記録に残っている。以来二十五年、参加校は二〜五校、会場は第八回からすべて大附属高となっている。

特に大附属高と第一女子商（のちに桜ヶ丘高）は教員の支援もあって、二十四回まで共に歩んできたが、'02年末で桜ヶ丘高のユネスコクラブが廃部となり、記念すべき二十五回のは、大附属高一校のみとなった。

## 当日の状況

今年、去る三月二十三日に

このつどいを開催した。

大附属高生徒、同指導教員、ユネスコ協会役員の計十三名が出席、高校生がユネスコクラブへの入会の動機、ユネスコ活動体験などを語り合った。午後の街頭募金は、'01まではそごう前で行ったが、シャレオ等の開業で人の流れが変わったため、'02からは八丁堀天満屋前となった。

女子高生、協会役員計九名で、世界寺小屋運動（識字運動）の募金であることを記した横断幕を掲げ、通行者に協力を呼びかけた。元気のよい女子高生の張り

## ユネスコ全国大会参加報告

「対話と協調―いま求められるユネスコ憲章への回帰」をテーマに、第五十九回日本ユネスコ運動全国大会が五月二十三日〜二十五日札幌市で開催され、当協会から北川会長、藤井正一理事、山本の三名が参加しました。その概略（一部）を報告します。

## ◆記念講演◆

獣医師・ナショナルトラスト「オホーツクの村」前村長の竹

りのある呼びかけで、笑顔もあって募金に応ずる方が多く、計四万三千五百円が寄せられた。

## 今後の課題

'05年には全国高校ユネスコ研究大会が広島で開催される予定である。そのために高校生をつどいへの参加校を拡大する必要があり、昨年六月、比治山女子高が、韓国源花女子高と姉妹提携の調印式を行った。生徒会ではユネスコクラブ結成の動きがあると聞く。大附属高、比治山女子高が連携して、広島大会を成功させるために、つどいへの参加を各校へ呼びかけて頂きたいと思うがどうだろうか。協会自体はいわずもがなである。

（常任理事・大和喜久男）

いま、何をすればいいのか。環境を守るために、関心があることに手助けをすることです」

## ◆その他◆

松浦ユネスコ事務局長がアメリカの復帰加盟についてつぎのように述べられた。

○ アメリカがユネスコに加盟する二度目のチャンスが与えられたが、アメリカには多くの課題があります。現政権にはユネスコの経験者がいないということとです。

○ アメリカが貢献するユネスコ活動には日本の手助けが必要です。日本のような協会は世界に例がない。

○ アメリカの都市と姉妹縁組をしている都市の皆さんは関係者に、アメリカに友人のいる方は手紙を書いてユネスコ協会をつくるよう応援してください。

（事務局長・山本隆信）



## 大邱訪問団員募集

広島ユネスコ協会では、韓国ユネスコ大邱協会との姉妹協会提携プログラムの一環として、第二次訪問団を募集・派遣します。日程は次のとおりです。

日程 ◇十月二日(木)午後五時広島国際旅客フェリー港発（「銀河」五六〇トン、船中泊）◇三日(金)午前九時半釜山港着、大邱へバスで移動、午前十一時半ホテルチェックイン、午後慶州観光（ユネスコ世界遺産仏国寺、石窟庵）と買物・自由行動、夕刻歓迎夕食会◇四日(土)午前午後海印寺（ユネスコ世界遺産）、さやか村訪問、夕刻オペラ観賞（韓国第一のオペラハウス）◇五日(日)午前市内観光（国際市場、釜山タワー、国連墓地など）と買物、午後三時半「銀河」乗船、五時出発（船中泊）◇七日(火)午前九時半広島港着

◇参加料金／七万五千円以内（船室は一等A室二人部屋、ベッド、シャワー付き、旅費、宿泊費、食事料金、交通費、観光料金含む）

◇申込み／七月十日までに藤井正一（〒七三〇〇八五四 広島市中区土橋町六一五 電話二三二―三九七八）へ

# 今年も杉並、松山 ユ協青年部が来広

ユネスコ世界文化遺産・原爆ドームの見学・研修を主目的に今年も杉並ユ協、松山ユ協の青年が広島を訪ねてきました。

今年で五回目の広島訪問となる杉並ユ協青年グループは、大入学予定者五名、高校生二名と引率の協会理事一名の八名。

三月二十六日、広島空港から広島原爆資料館入りした一行は、休む間もなく元広島原爆資料館長・高橋昭博当協会副会長から講話「被爆の実相」を。中

には再訪組もいるが真剣にメモをとりながら聴き、次いでボランティア・ガイドの案内で広島

原爆資料館を見学。その日の午後と二十七日は一行の自主企画で、新設の祈念館、慰霊碑巡り、袋町小学校平和資料館などを見

学。二十八日は今回はじめての試みで江田島を訪ねた後、宮島ユ協の宿泊の手配などの協力で厳島神社を見学し、翌二十九日帰京しました。

一方、今年で二年目となる松山ユ協は、松山を主に岩国、岡山、倉敷の高校生約六十名と松山ユ協役員。五月三日、海路広

## 青年対象「英会話」、「ハングル」講座を9月・11月に予定

青年たちが語学講座を通じてユネスコ活動について理解していただくため、昨年に引き続き「英会話教室」「ハングル講座」を青少年センターと共催して、9月、11月からそれぞれ5回開催いたします。

学生を除く青年対象に、外国の文化や生活習慣などについて理解を深めるとともに、簡単な英会話やハングルを身につけて在広、来訪外国人をおもてなしし、交流を図っていくことをねらいとしています。

これまでのアンケートによると、回数が少ない、引き続きやってみたいといった回答が殆どでした。

一昨年からグループを発足し、それぞれ5～10名が活動していますが、少人数のため、新たに募集して新メンバーを増やしていくこととしました。

これからも、青年層の組織拡充に向けて、積極的に取り組んでいきたいと思います。(理事・國田 繁)

## 世界遺産講座で出前講義

ユネスコ世界遺産に対する市民の関心の深まりを反映してか、広島ユネスコ協会に対して、世界遺産講座の講師派遣の要請が先ごろ重なりました。

その一つは、(財)広島市ひと・まちネットワークが生涯学習の一環として行っている「市民アカデミー事業」の、平成十四年度四期事業。南区の調整館、仁保公民館が企画した講座「世界遺産をたずねて」(会場/同館)。

二月の毎月曜日、四夜にわたって講座が開かれ、当協会は、「世界遺産の概要」「日本の世界遺産」原爆ドーム、厳島神社を

鳥入り。高橋昭博副会長の講話を祈念館で。講話の直後、一行の代表が「感謝の心を歌に託します」と述べ、歌手さだまさしの「ヒロシマの歌」を全員が熱唱する印象的な場面も。

このあと原爆資料館を、異例の三人のボランティア・ガイド(通常は一団体二名まで)の案内で見学。午後は昨年同様、語り部・岩本節子さんの案内で慰霊碑を巡りました。一行はその後、江田島へ移動、青年の家を根拠に日程を消化して五日離広。(常任理事・亀井 章)

## 日誌

### 1月

18日 ユネスコ新春フェスタ2003 (第5回広島ユネスコ活動奨励賞表彰)

### 2月

3日 広島市民講座「世界遺産」講師派遣 (10・17日も。仁保公民館)

### 3月

4日 ひろしま国際交流サミット(事務局長、藤井孝行理事。中山修一理事が講演)

### 4月

15日 第百八回ユネスコ・サロン「新市場への挑戦」風船工房 房匠社長・西直樹氏

### 5月

24日 ユネスコ全国大会(北川会長・山本事務局長・藤井正一理事。札幌。25日)

### 6月

28日 教育部会

### 7月

7日 30周年企画委員会

### 8月

17日 世界遺産講話「呉ライオンズ(亀井事務局長)

### 9月

23日 高校生のつどい(広島大附属高校)

### 10月

26日 杉並ユネスコ協会青年部来広(高橋副会長講話、原爆資料館。28日)

### 11月

29日 第百九回ユネスコ・サロン「日本音楽コンクール作曲部門第一位を受賞して」エリザベト音大大学院博士課程・朴銀荷氏

### 12月

26日 第百十回ユネスコ・サロン「タウン誌半世紀の喜怒哀楽」広島映画手帳、月刊レジャー広島・編集長久村敬夫氏

### 1月

24日 ユネスコ全国大会(北川会長・山本事務局長・藤井正一理事。札幌。25日)

### 2月

22日 知っておきたい韓国講座「広島と韓国の絆を探る」(市留学生会館)

### 3月

28日 教育部会

### 4月

15日 第百八回ユネスコ・サロン「新市場への挑戦」風船工房 房匠社長・西直樹氏

### 5月

24日 ユネスコ全国大会(北川会長・山本事務局長・藤井正一理事。札幌。25日)

### 6月

28日 教育部会

### 7月

7日 30周年企画委員会

### 8月

17日 世界遺産講話「呉ライオンズ(亀井事務局長)

### 9月

23日 高校生のつどい(広島大附属高校)

### 10月

26日 杉並ユネスコ協会青年部来広(高橋副会長講話、原爆資料館。28日)

### 11月

29日 第百九回ユネスコ・サロン「日本音楽コンクール作曲部門第一位を受賞して」エリザベト音大大学院博士課程・朴銀荷氏

### 12月

26日 第百十回ユネスコ・サロン「タウン誌半世紀の喜怒哀楽」広島映画手帳、月刊レジャー広島・編集長久村敬夫氏

## 後援行事

日中友好平和の翼完成一周年記念「音楽と講演の集い」(日中友好の輪を広げる会、ほか主催。5月、広島市留学生会館)